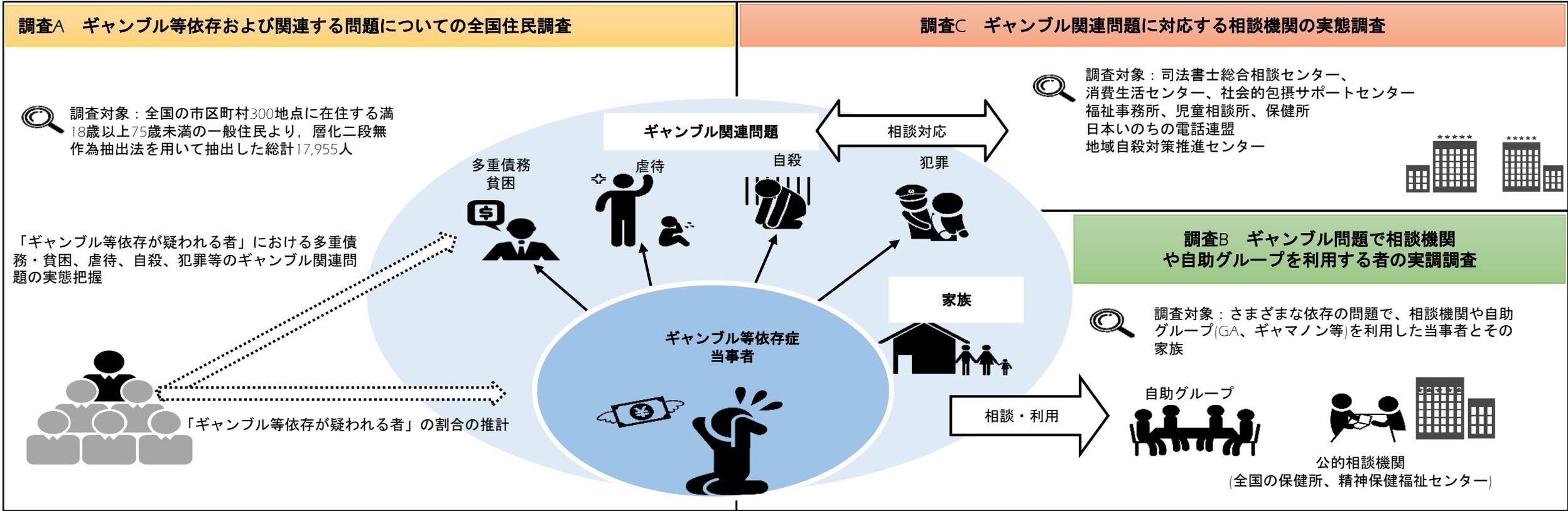


# ギャンブル障害および ギャンブル関連問題の実態調査

国立病院機構久里浜医療センター

松下幸生、新田千枝、遠山朋海、樋口 進

# 調査の概要



依存症対策全国センターホームページ  
<https://www.ncasa-japan.jp/docs/>

# 調査の概要

	調査時期	調査方法	回収数(回収率)
調査A	令和2年 10/22 ～12/16	層化二段無作為抽出法による住民調査 対象者は全国の17,955人 自記式調査（調査票を郵送） （回答方法はウェブまたは郵送）	8,469人 (回収率48.1%)
調査B	令和2年 11/30 ～令和3年 2/4	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公的相談機関（精神保健福祉センターおよび保健所）と自助グループ参加者</li><li>・ 相談機関の職員が来訪者に依頼</li><li>・ 自助グループにはeメールで拡散</li></ul>	当事者（377人） 家族（643人）
調査C	令和2年 12/23 ～令和3年 1/15	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ギャンブル関連問題の相談機関調査</li><li>・ 各施設職員に対するアンケート調査</li></ul>	166施設

# 住民調査概要

---

**調査対象**：層化二段無作為抽出により抽出された18歳以上75歳未満の男女 17,955人

**調査手法**：調査票を郵送し、回答は郵送またはウェブを回答者が選択

**有効回答**：回答は8,469人より得られたが、無効回答を除外し、有効回答は8,223人（男性3,955人、女性4,268人）より得られ、有効回答率は45.8%

**調査内容**：

- ① ギャンブル経験の有無、頻度、掛け金額などギャンブル行動
- ② ギャンブル障害のスクリーニングテスト（SOGS、PGSI）
- ③ 家族や重要な他者のギャンブル問題とその影響
- ④ ギャンブル関連問題（うつ・不安（K6）、希死念慮、自殺企図、小児期逆境体験（ACES）、喫煙、飲酒（AUDIT-C））
- ⑤ コロナ感染拡大とネットギャンブルとの関連
- ⑥ 依存症を含めた各種疾患の自己責任についての意見

# ギャンブル経験の有無と種類

## ギャンブル経験

	N	生涯	過去1年
男性	3,955	3,328 (84.1%)	1,781 (45.0%)
女性	4,268	2,802 (65.7%)	978 (22.9%)
全体	8,223	6,130 (74.5%)	2,759 (33.6%)

## 経験のあるギャンブルの種類 (%)

性別	パチンコ	パチスロ	競馬	競輪	競艇	オートレース	宝くじ	サッカーくじ	証券取引、FX	ネットギャンブル	カジノ(海外)	その他
女性	34.1	12.6	18.3	1.4	3.0	0.7	58.6	4.3	4.5	0.8	5.4	0.2
男性	67.7	33.7	41.3	9.8	12.9	4.1	69.1	15.9	12.1	4.0	9.2	1.4

調査対象者数： 17,955名 (18歳から74歳)

回答者数： 8,223名 (男性3,955名、女性4,268名)

平均年齢： 男性： 50.9 ± 15.2歳、女性： 48.6 ± 15.4歳)

# ギャンブル障害のスクリーニングテスト結果

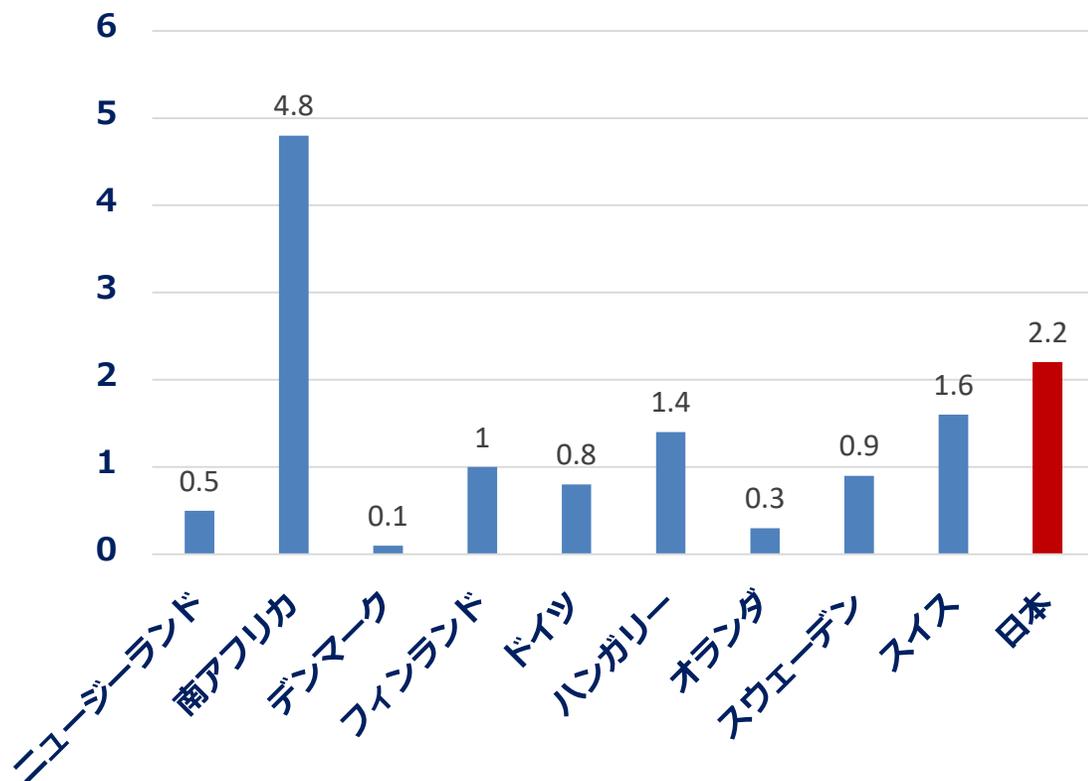
	全体	男性	女性
<b>SOGS 過去12か月</b>	% (95% C.I.)	% (95% C.I.)	% (95% C.I.)
5点以上	2.2 (1.9-2.5)	3.7 (3.2-4.4)	0.7 (0.4-1.0)
<b>PGSI 過去12か月</b>	% (95% C.I.)	% (95% C.I.)	% (95% C.I.)
8点以上	1.6 (1.4-1.9)	2.8 (2.3-3.4)	0.4 (0.3-0.7)

SOGS: South Oaks Gambling Screen  
PGSI: Problem Gambling Severity Index

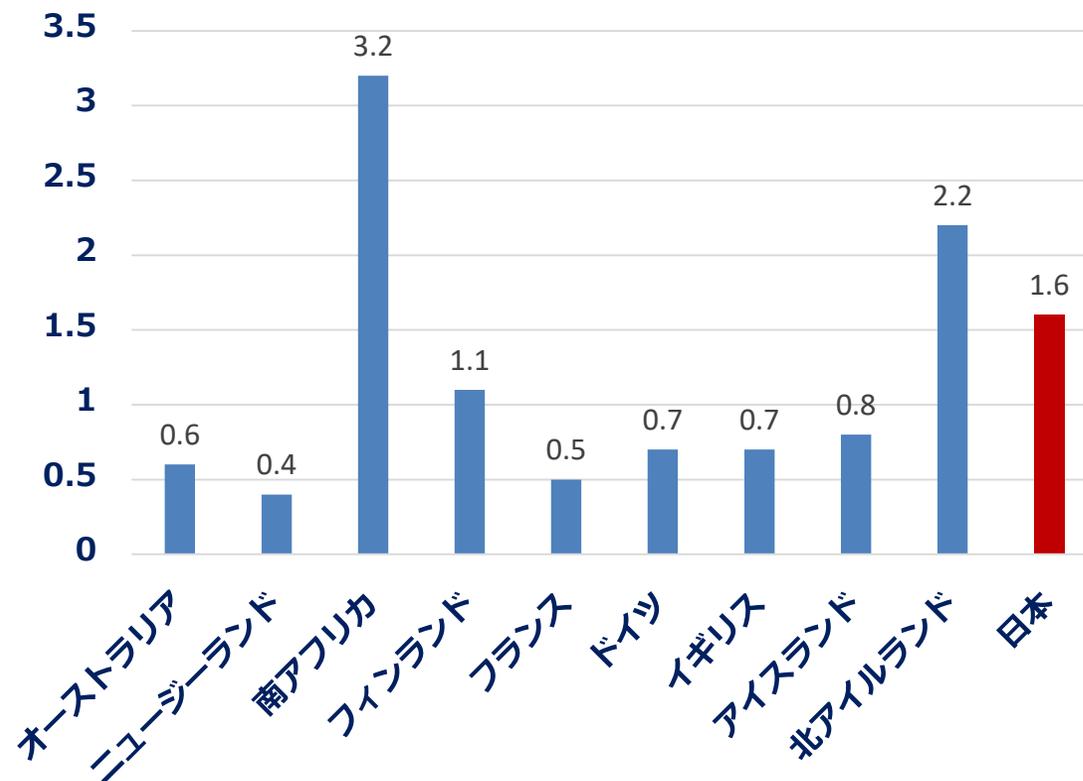
年齢で調整

# 海外調査との比較

## SOGS 5点以上の割合 (%)



## PGSI 8点以上の割合 (%)



# 最もお金を使ったギャンブルの種類

## 男性

SOGS	パチンコ	パチスロ	競馬	競輪	競艇	オートレース	宝くじ	サッカーくじ	証券取引、FX	ネットギャンブル*	カジノ(海外)	その他
5点以上	32.9%	33.6%	11.7%	2.2%	4.4%	0%	5.1%	0.7%	2.9%	0%	0%	1.5%
4点以下	14.5%	9.0%	10.7%	0.5%	1.2%	0%	39.8%	4.3%	8.1%	0.6%	0.5%	0.3%

\*公営ギャンブル以外

## 女性

SOGS	パチンコ	パチスロ	競馬	競輪	競艇	オートレース	宝くじ	サッカーくじ	証券取引、FX	ネットギャンブル*	カジノ(海外)	その他
5点以上	53.6%	14.3%	3.6%	0%	0%	0%	14.3%	0%	3.6%	0%	0%	0%
4点以下	8.4%	4.1%	4.3%	0%	1.0%	0.1%	67.1%	1.9%	5.9%	0.5%	0.2%	0%

\*公営ギャンブル以外

過去1年間にギャンブルをしたと回答した男性1781名、女性978名の集計

SOGS 5点以上で多いのは、パチスロ、パチンコ、競馬の順

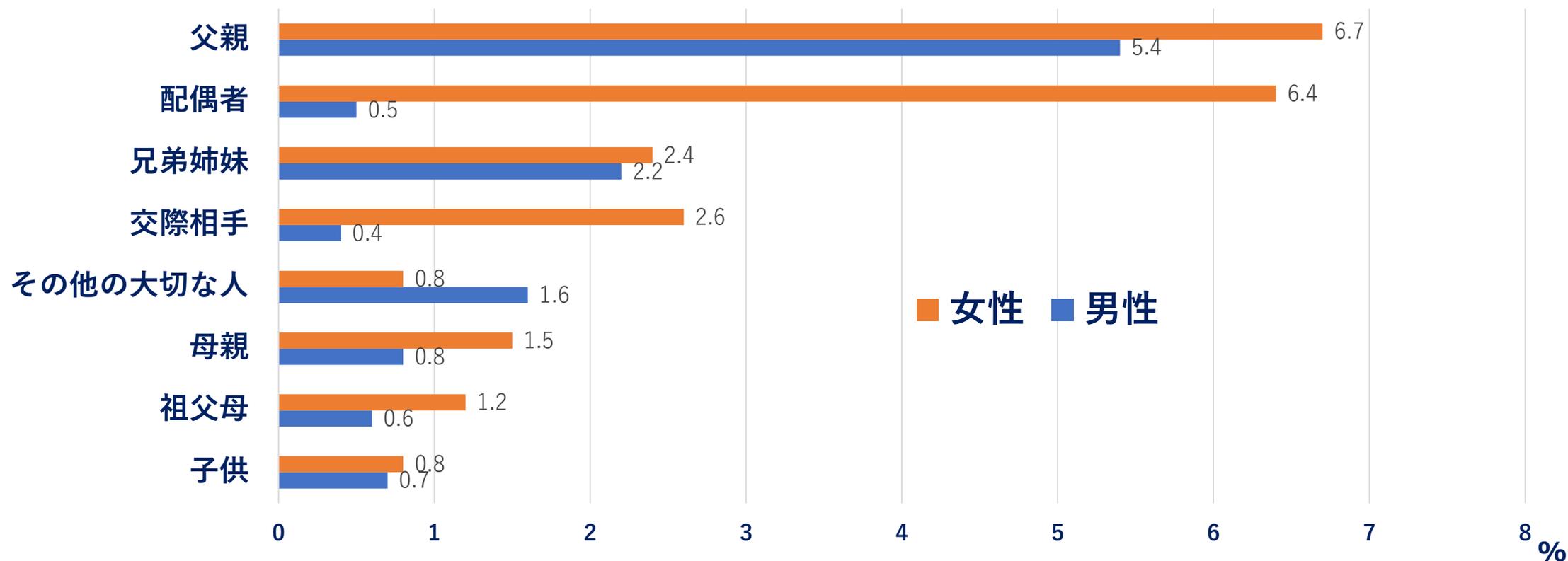
# 家族や重要な他者のギャンブル問題

家族や重要な他者にギャンブル問題がある（あった）と回答したのは、

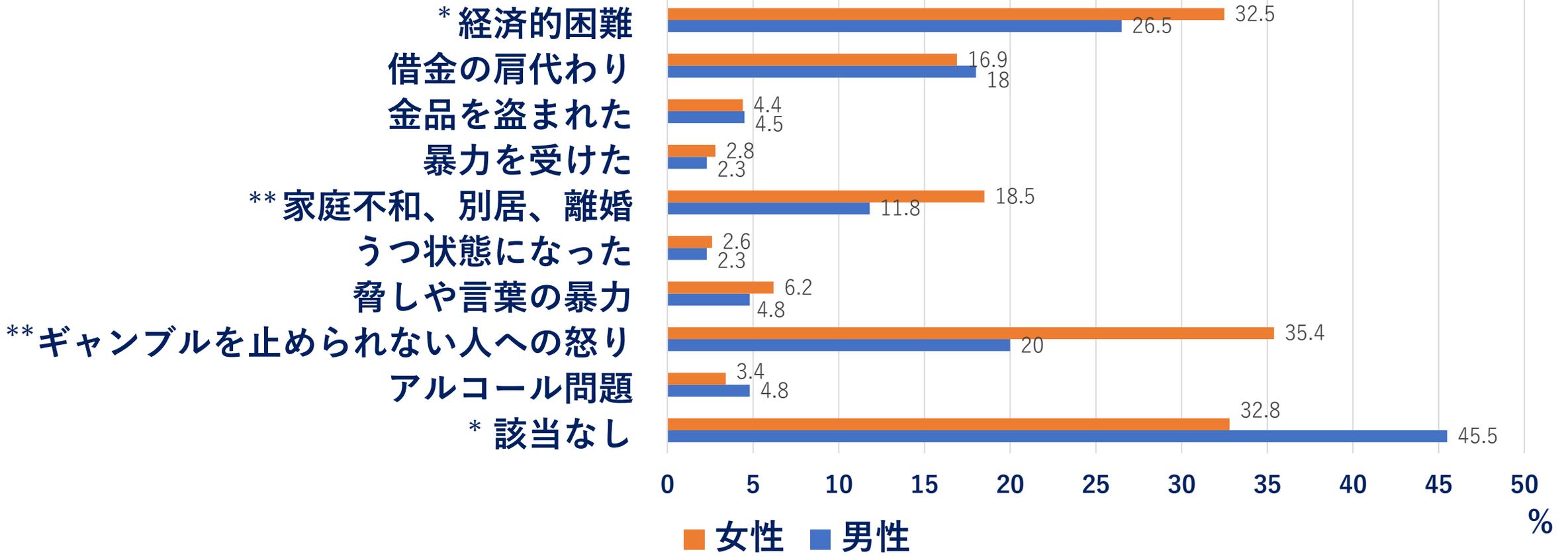
全体: 14.0% (13.2-14.7%)

男性: 10.3% (9.3-11.2%)

女性: 17.7% (16.5-18.8%)

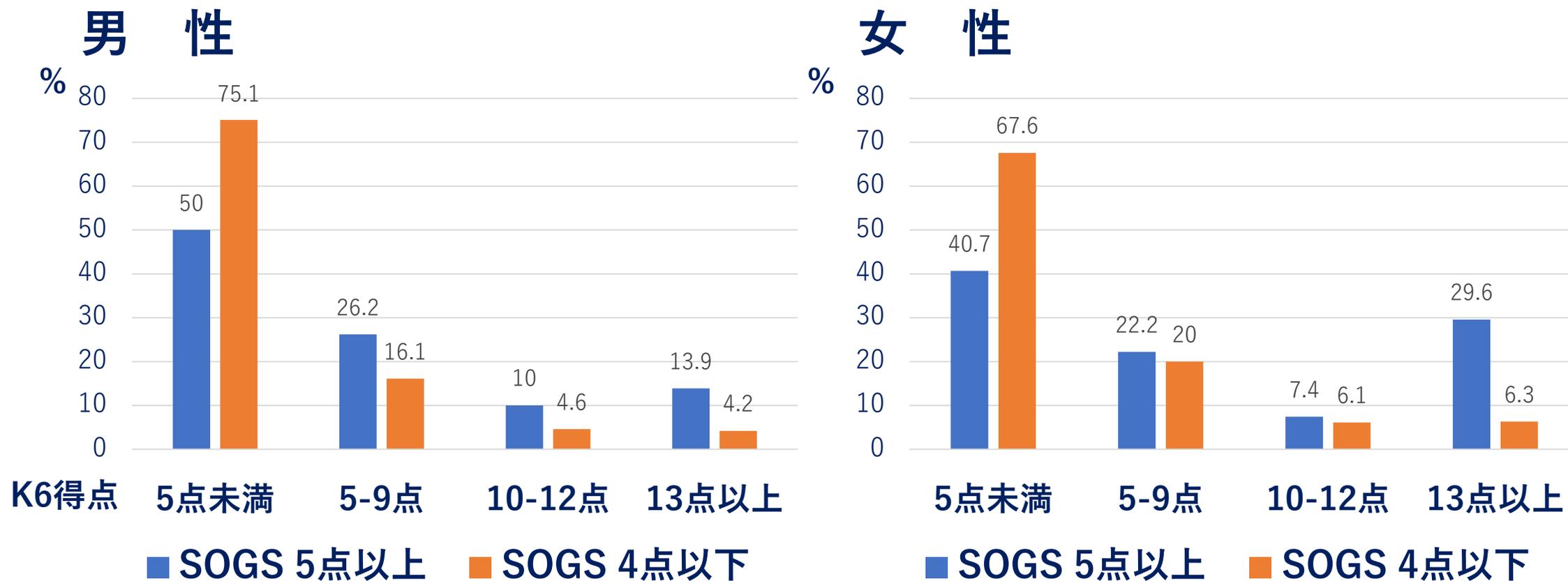


# 家族や重要な他者の ギャンブル問題から受けた影響



\*\*p < 0.01, \*p < 0.05

# SOGGSと抑うつ・不安（K6）の相関



抑うつ・不安の強さはK-6で評価

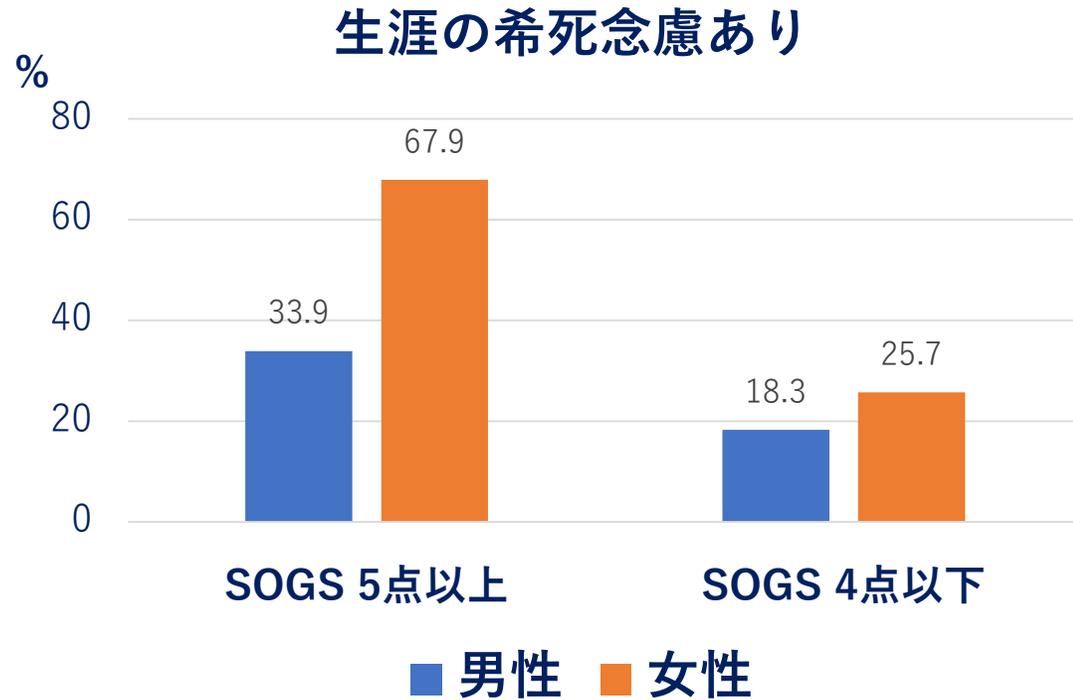
0-4点：問題なし、5-9点：何らかの問題がある可能性、10-12点：うつ・不安が疑われる、13点以上：重度のうつ・不安が疑われる

男性： $\chi^2(1) = 51.3, p < 0.0001$

女性： $\chi^2(1) = 25.7, p < 0.0001$

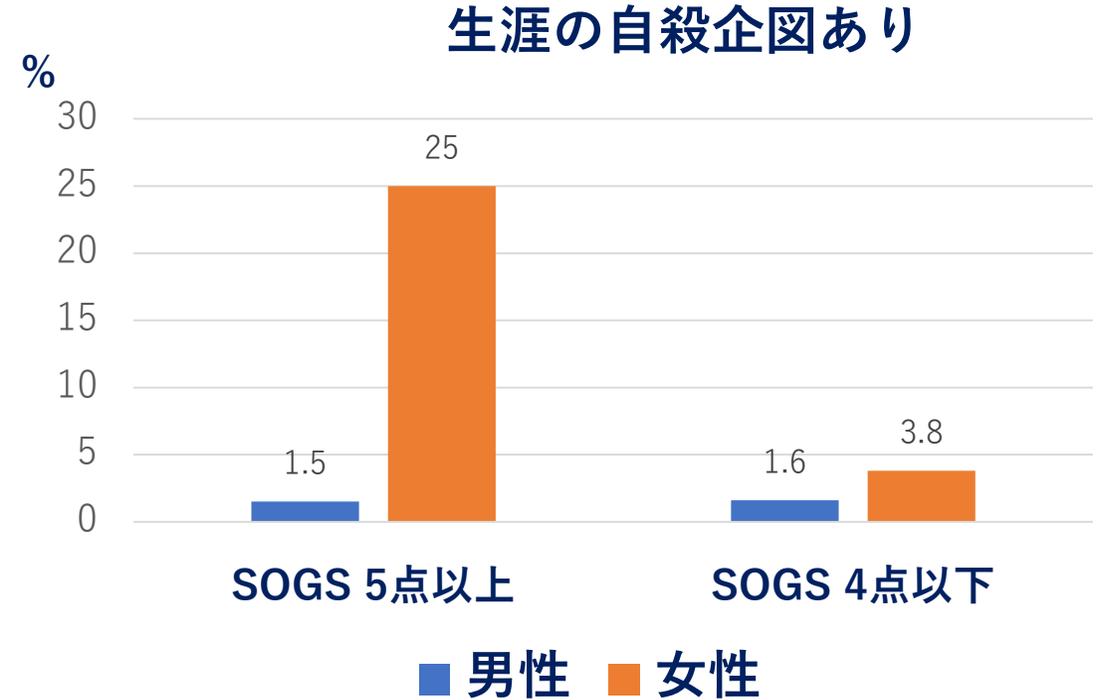
# SOGGSと希死念慮・自殺企図

## 希死念慮（生涯）



男性： $\chi^2(1) = 19.8, p < 0.0001$   
女性： $\chi^2(1) = 25.6, p < 0.0001$

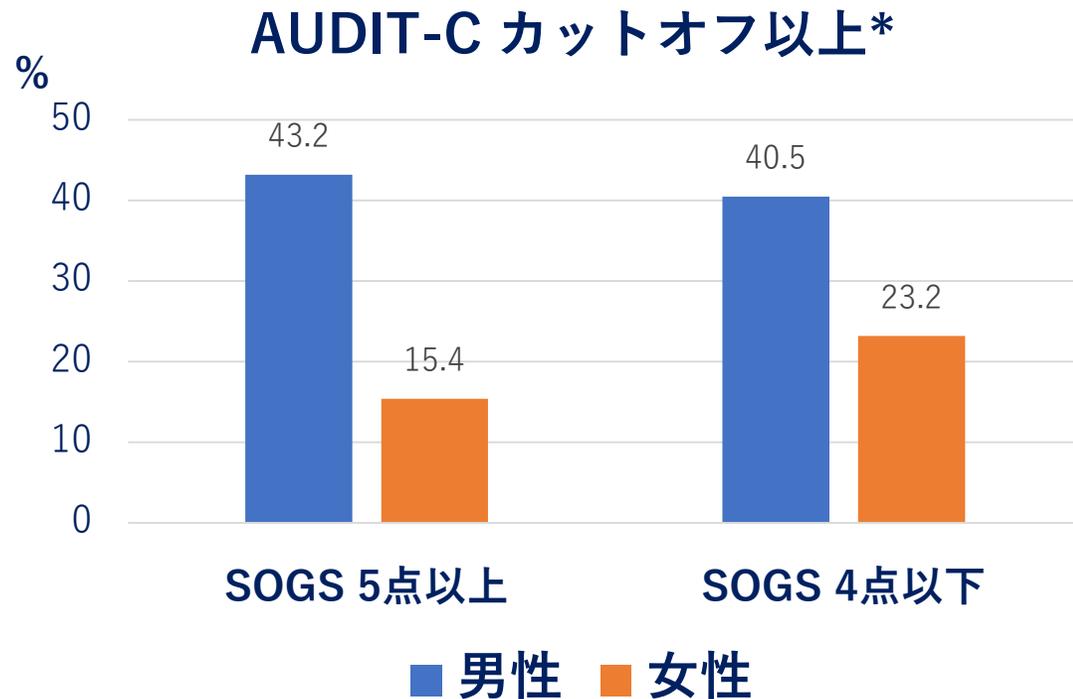
## 自殺企図（生涯）



男性： $\chi^2(1) = 0.01, ns$   
女性： $\chi^2(1) = 33.4, p < 0.0001$

# SOGSと飲酒・喫煙

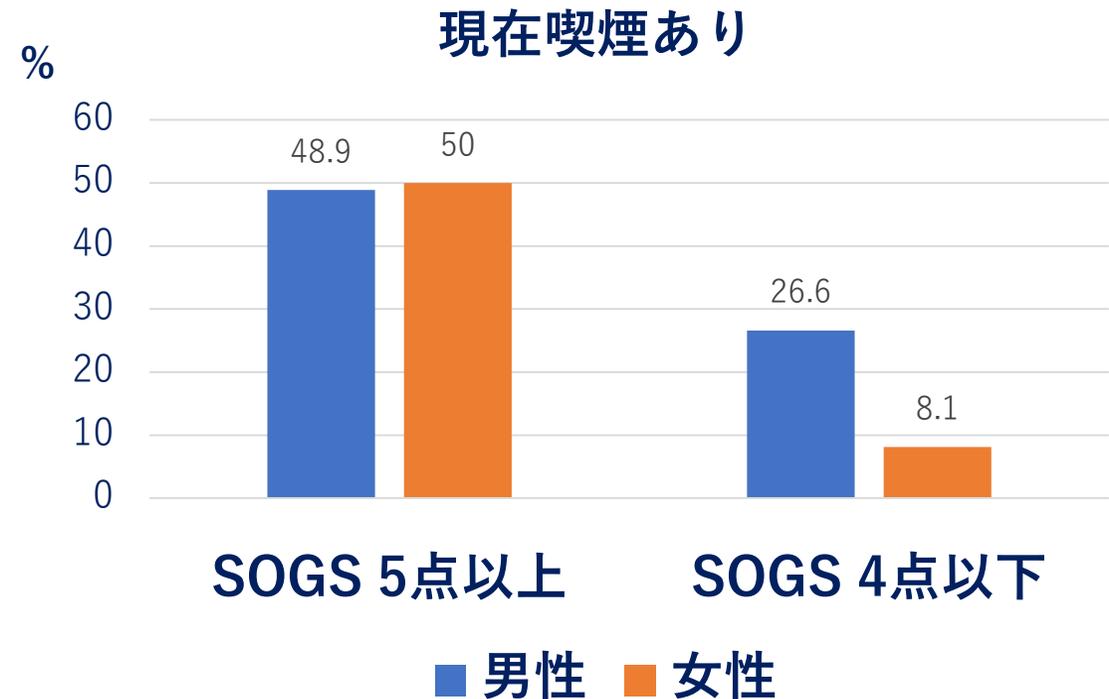
## 飲酒 (AUDIT-C)



男性 :  $\chi^2 (1) = 0.37, ns$   
女性 :  $\chi^2 (1) = 0.88, ns$

\*男性 5点以上、女性 4点以上

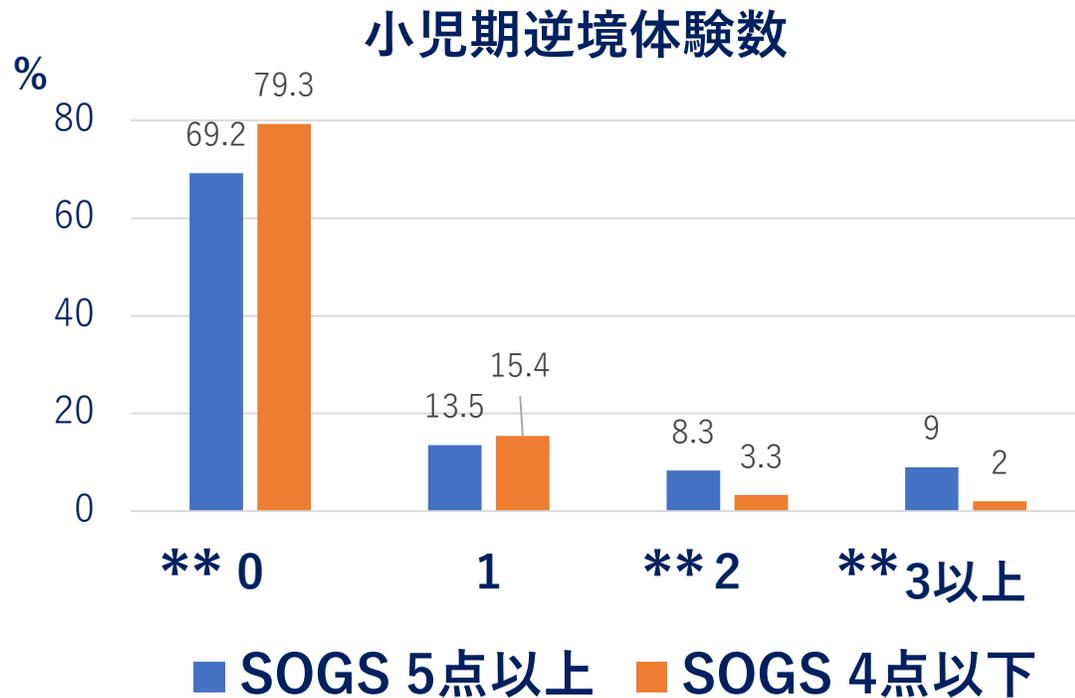
## 喫煙



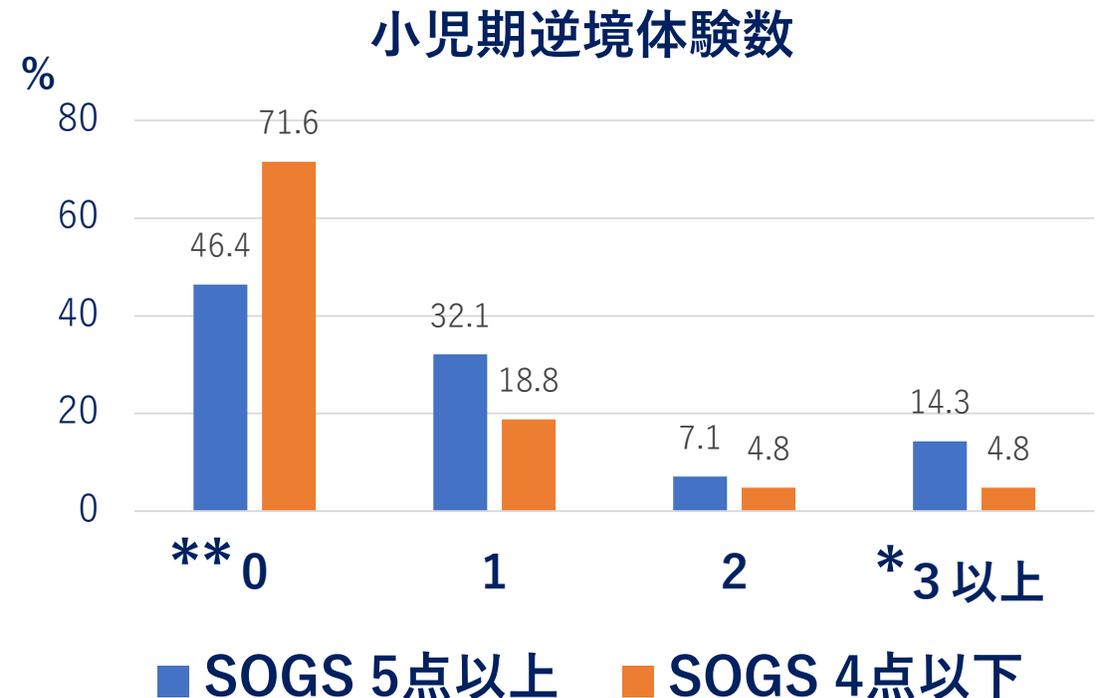
男性 :  $\chi^2 (1) = 32.8, p < 0.0001$   
女性 :  $\chi^2 (1) = 65.7, p < 0.0001$

# 小児期逆境体験との関連

男性



女性



男性： $\chi^2(3) = 39.0, p < 0.0001$  (Fisherの正確検定)

女性： $\chi^2(3) = 10.5, p < 0.05$  (Fisherの正確検定)

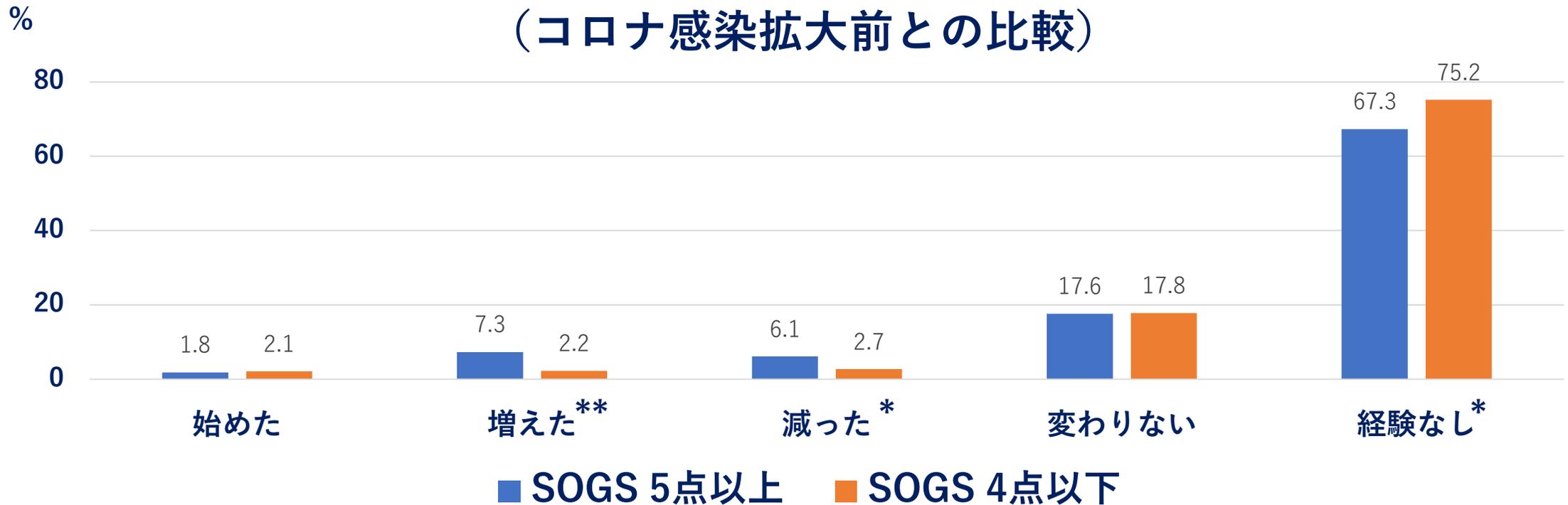
残渣分析結果：\* $p < 0.05$ , \*\* $p < 0.01$

小児期逆境体験

- ① 心理的虐待、② 家庭内暴力、③ 精神疾患がある人との同居、④ 身体的虐待
- ⑤ アルコール依存や薬物乱用がある人との同居、⑥ ネグレクト、⑦ 性的虐待
- ⑧ 両親の離婚、⑨ 刑務所に入ったことがある人との同居、⑩ 学校でのいじめ

# 新型コロナ感染拡大とネットギャンブル

インターネットを使ったギャンブルの変化  
(コロナ感染拡大前との比較)

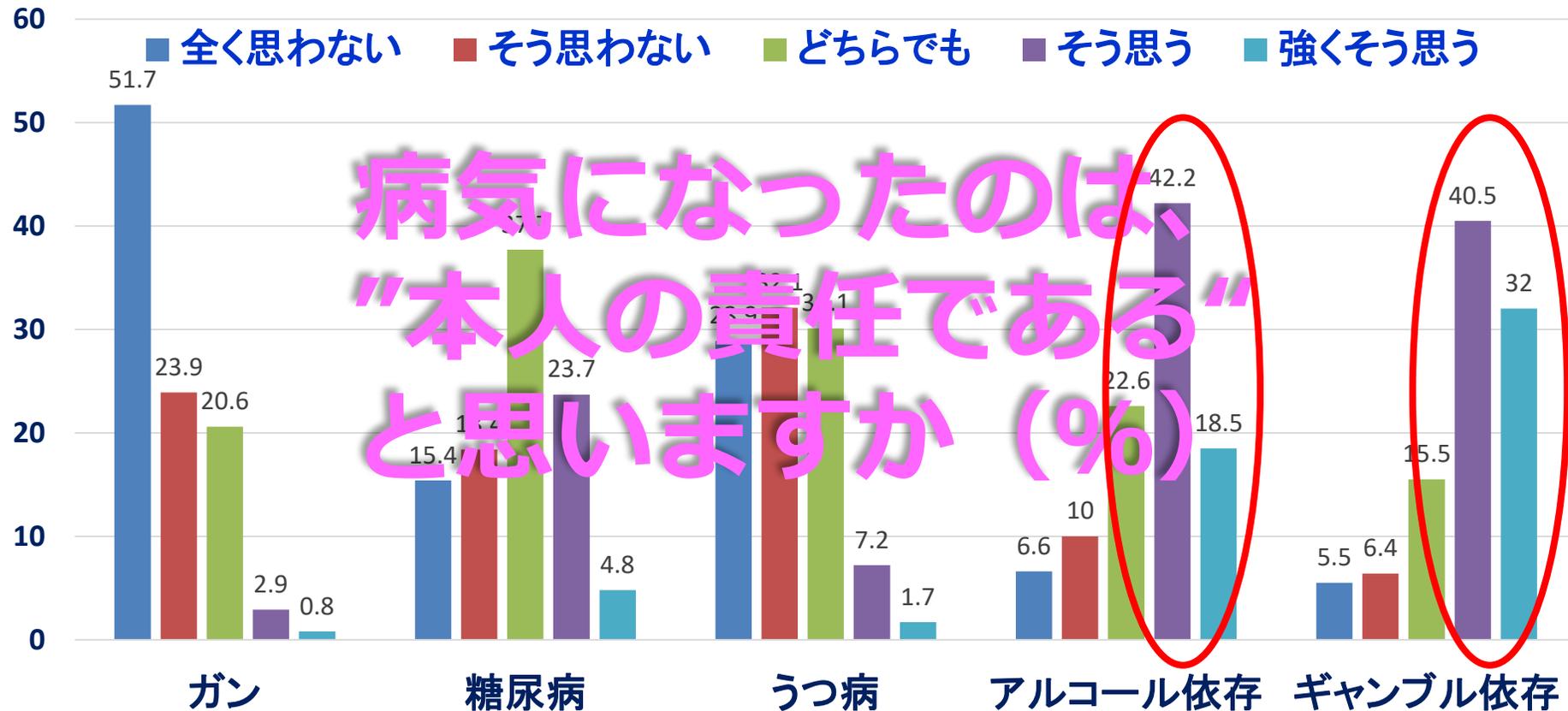


過去1年間にギャンブルの経験がある者のみ (n = 2510)

$\chi^2(4) = 23.1, p < 0.001$  (Fisherの正確検定)

残渣分析結果: \* $p < 0.05$ , \*\* $p < 0.01$

# ギャンブル障害に対する一般住民の意見



全国の住民8,223名を対象としたギャンブル調査。  
対象は、住民基本台帳より18歳から74歳までの住民を無作為に抽出し、  
自記式の調査票を郵送して回答を得た。

# ギャンブル実態調査の課題

---

- **調査実施主体が不明瞭**

【ギャンブル等依存症対策基本法】

**第二十三条** 政府は、三年ごとに、ギャンブル等依存症問題の実態を明らかにするため必要な調査を行い、その結果をインターネットの利用その他適切な方法により公表しなければならない。

- **関連問題を含めると調査対象が広範囲 ➡ 調査体制は要検討**

犯罪関連（警察、刑務所等）は調査不能  
弁護士会から協力得られず

- **調査の準備不足**

少ないサンプル数（調査B）、低い回答率（調査C）